



完成なった武蔵の新校舎

武蔵高校のホームページ完成!! <http://www.musashi.-h.metro.tokyo.jp>

母校のホームページが、2002年12月から公開されています。武蔵野の緑をバックに新校舎を前面に出し、現在の武蔵と生徒の生き生きとした日常を掲載しています。ぜひ一度アクセスしてください。

今年の総会は新装なった母校で開催

日時 6月1日(日)

総会 13:00開始
場所 都立武蔵高等学校 視聴覚室
新校舎見学ツアーもあります。

懇親会 15:30受付開始 16:00開始
場所 レインボーサロン(武蔵野スウィングホール11F)
会費 一般会員 2,000円
学生会員 1,000円 新卒業生 無料
出欠 出席の方は、同封の返信用葉書をお送り下さい。

平成14年度(15年3月)
新卒業生同窓会幹事氏名

ご 挨拶



同窓会会長 土屋 正忠

同窓生の皆様におかれましてはお元気でお過ごしのこととお慶び申し上げます。

さて、最近の学校の様子や同窓会のことについてご報告いたします。今年、武蔵高等学校は創立63周年を迎えます。校舎、体育館の建て替えも終わり、新しい校舎で教育活動が始まっています。15歳人口の激減を受けて都立高校の再編成が始まり、武蔵高等学校は中高一貫教育校となることが決定し、その準備が始まっています。同窓会としては、菊池正仁校長先生に歴史と伝統ある武蔵高等学校の校名を存続すること、自由と規律の校風を引き継ぐことを要請いたしました。なお、校舎落成記念式は平成15年6月7日に行われる予定です。

また、一昨年に武蔵境駅近くのビルの1室をオーナーである同窓生が格安で提供してくれお話をいただき、同窓会事務所が設置されました。おかげで打合せや書類の管理など大変役立っています。クラス会や各部のOB会などの打合せに積極的にご利用ください。

今年は新校舎竣工を祝い、同窓会の総会を6月1日に校舎見学会を兼ねて武蔵高等学校の視聴覚室で行うこととなりました。懇親パーティーは従来どおり武蔵境のスイングホールにて行います。大勢の皆様のご出席をお待ちしております。

懐かしい笑顔が集う今年の同窓会 ～6月1日 新校舎ツアーも～

今年の同窓会総会は、例年とは一味違います。校庭の南側、昔、草原だった場所に新設された校舎の視聴覚室で開催されることになりました。

総会のあとは、校長先生から、次ページにありますように、「中高一貫校」に移行する都立武蔵高校の、今後の姿についてお話を頂きます。

さらに校長先生、教頭先生たちのご案内で、いくつかのグループに分かれての新校舎ツアーもおこなわれます。

建物は一新されましたが、私たちの青春を暖かく育ててくれた桜、イチヨウ、ヒマラヤスギなどの樹木は、すべてではありませんが、大切に保存されています。

同級生の皆さんに声を掛け合って、ぜひご参加ください。

新校舎落成記念式典・祝賀会 ～6月7日（土）～

新校舎の落成を祝して、記念式典と祝賀会が行われます。

同窓会からは、新校舎落成の記念品として、床置き式の「大型柱時計」を贈呈いたします。また、記念式典・祝賀会の費用の一部を負担します。

「祝賀会」参加ご希望の方は、同封のしがきでお申し込みください。

式 典

場 所 武蔵高校

日 時 6月7日（土）

14：00～記念式典

15：00～アトラクション

16：00～校舎見学

祝 賀 会

場 所 吉祥寺 東急イン2F 摩天楼

日 時 6月7日（土）18：00～

会 費 3,000円

「むさし未来 21」

～日本一の公立中高一貫教育校を目指して～



東京都立武蔵高等学校長
菊池 正仁

学校が、教育を行う組織としてその力を十分発揮していくには、学校としての具体的な目標を持ち、その目標に向かって教職員全体が努力していくことが不可欠です。今までの武蔵の輝かしい歴史、それは何よりも個々の生徒諸君のエネルギーとそのエネルギーを正面から受け止めた先生方の力によって作られてきたと思います。しかし、この歴史を作ってきた主な力は、必ずしも武蔵高校という組織としての力ではなく、個々の生徒と教員の力であったと思います。

昭和50年代頃から都立高校への都民の評価が年々低落している中であっても、進学指導は私立に任せ、都立はのんびりした高校生活の中でのびのびと生徒を育てていけばよいという意識を都立高校の大半が持っていました。受験指導はタブー視され、補習などんでもないとの風潮の中、都立高校で進学を希望する生徒たちは予備校や塾で受験の準備をするという状況が一般化し今も続いています。このような中で都立高校の長期低落が続き、ついには進学ばかりでなく部活動などの特別活動の面でも都立の低落が目立つようになりました。

このような中で、公立高等学校である都立高校が都民の要望を真正面から受け止め、そのニーズに応えることでその公立学校としての役割を再認識し、生まれ変わろうという都立高校改革が始まりました。特に今年は、学区制の廃止という大きな制度改革に加えて、景気の低迷ということもあり、今までにない都立への風が吹きました。本校の実受験倍率

は1.5倍を越え、最近では最高の倍率を記録しました。高校改革は全体として都民の支持を受けているといつてよいと思います。

しかし、実はこれからがもっとも大切なのです。このような都民・中学生やその保護者の期待に応える学校づくりをそれぞれの学校が進めていかなければ、この風もすぐにやんでしまうからです。そして、今新しい学校づくりを進めていくためには、何よりも組織としての力を生かしていかなければなりません。

武蔵高校は、平成20年から都立中高一貫校へという展望が示されています。この中高一貫校を成功させ、日本一の公立中高一貫校を実現していくために必要なことは、武蔵高等学校が組織としてこの課題に挑戦し、その組織としての力を最大限に発揮していくことです。そのためには、まず教職員・生徒・保護者・同窓会など本校に関係するすべての人たちが中高一貫教育について関心をもち、どのような学校づくりをしていくかについて積極的に提言していくことです。このような意味で、15年度には、校内に未来構想委員会を作り、まず教職員の中での研修を進めていく所存です。この委員会を中心として、多くの意見を集約し、組織としての取り組みを進めて行きたいと考えています。同窓会の皆様のご理解とご後援をお願いしたいと思います。

「武蔵」の校名を残して!!

同窓会ではさる3月、「都立武蔵高校の中高一貫校に関する要望書」を菊池校長に提出しました。その要旨は下記のとおりです。

- ・都立武蔵高校の卒業生は約22,000人になっております。永い歴史があります都立「武蔵」の名前は守っていただきたい。
- ・武蔵高校の永い歴史の中で育った生徒の自由と責任の伝統を守っていただきたい。

クラス・同期会だより

§ 24回生第2回同期会 § ～卒業30周年～

「林を出でて、林にいり…」懐かしい歌を唄う友の顔をみるのは何年ぶりだろう。わが青春はバスケットにあり、そして武蔵にありと信じる私にはこの歌は心の歌でもあるのです。

6年ぶりに戻った日本で待っていたのはなんと第2回目の同期会幹事の仕事でした。日本の生活に慣れるのにやっとの頃、久しぶりにクラスメートの名前を書いたり声を聞いたり…。おかげでいいリハビリになりました。

2002年9月21日、卒業後30年の節目になった同期会、顔や体つきは多少(?)変化があ

るものの、アッという間に心は学生時代に戻ってしまいました。



夕方からの二次会も全員で「やるき茶屋」へ。この時点で既にかなりアルコールがまわり、更に三次会は100人以上の元武蔵生がアチコチの飲み屋で、氣勢を上げ、武蔵境駅前は

もう治外法権状態でありました。でも本当に、同期会っていいですね。

今年は多くの同期生が50歳を迎えます。まだまだやりたい事がいっぱいあります。まだまだ頑張れます。心はいつも前向きに！。4年後、第3回の同期会でまた会いましょう。

§ 20回—E組のクラス会 §

昨年7月6日、武蔵生には懐かしい吉祥寺でクラス会を開きました。

なんと25年ぶり。お互い最後に見た姿は、曲りなりにも20代だったとあって、当日は少々勇気のいる出席ではありました。

案の定、名乗り合わないと識別できず、名乗られても判らないという変身ぶりの人もいて、極端な話では、仕事関連で顔を合わせる間柄であったのに全く気付かず、当日二人でびっくり、などという人達もいたのです。もちろん「そのまんま」の人もいましたが、25年の歳月を実感致しました。

国語がご専門の先生は、その豊富な知識と趣味を生かされて、都の生涯学習講師として、

退官後は「東京の文学歴史散歩」も主宰されるなどご活躍中。若々しい風貌と、張りのある大きな声で、50代となった生徒たちに、生き方の指針を示して下さいました。

武蔵の伝統「元気な女の子」達は、その上に更に少し年輪を重ねた強さと優しさも加わり、仲々の存在感。かつての男の子達は押され気味ながら、こちらもちょうっと大人の味が出て…と、26名賑やかに話がはずみました。

先生を囲んでの久し振りの再会。皆、夫々の25年を歩み、その間付き合ひのない人達の方が多かったにもかかわらず、同級生という接点は、時を超える不思議な近さで、心温まるひと時を、もたらしてくれたのでした。

§ 「飛行機工場の少女たち」同期会 §

平成14年11月10日に、新宿のホテルセンチュリーサザンタワー19F「ほり川」にて、高女3期生の同期会が開かれ、22名の出席者は56年というタイムカプセルを開いて、和やかな充実した時を過ごしました。

戦時中、飛行機工場に動員された15歳の少女達は、朝家を出る時から帰るまで、「必勝」と書いた鉢巻をして、日本が勝つことを信じて

働きました。

敵機来襲の度に防空壕に入り、爆弾が落ちたら死ぬかもしれない覚悟で、肩を寄せ合った仲間が、今は、72や73歳の老年になり、元気で集まり楽しく語り合ったのです。

武蔵で培われた健全な精神は今も揺らぐことなく、皆前向きで、素晴らしい会を終えることができました。



§ 還暦記念の同期会 124名集合 §

Nice Return Dayと銘打って「還暦記念の会」を開きました。今年の2月1日（土）寒

い日でしたが、兵頭、関塚、田部井、広見4先生のご出席も得て、これだけ集まりました。



§ 10回Bのクラス会 §

昨年11月9日（土）懐かしの高尾山を散策した後「うかい鳥山」の囲炉裏を囲んで、25名のクラスメートが旧交を温めました。寒い一日でしたが、ケーブルを使わず、徒歩で往復する元気組もありました。卒業以来始めてという方もあり、お互いに変わったと言ってもは驚き、昔と変わらないと言ってもは感激し、積もる話に花が咲きました。皆、年輪を重ねて魅力的な人間になりました。最近、毎年一回ずつ集まっています。今回連絡がとれなかった数名の方々にも是非お会いしたいと思っ

ています。また、波乱含みの21世紀にも私たちは元気でおりますと、誌面を借りて担任の吉見先生にご報告させていただきます。

第6回生の皆様へ

§ 同期会開催のお知らせ §

今年11月8日（土）12時～吉祥寺第一ホテルにて。

B組総幹事で開かれます。詳細は、後程各クラス幹事からお知らせがあります。

昨日・今日－近頃私は…

夢の北海道に移住して

「雪と温泉と田舎暮らし」を夢に、4年前に、とうとう北海道に来てしまいました。それも道東の弟子屈（てしかが：はじめは読めませんでした）という町に。家から摩周湖まで、車で30分、屈斜路には40分、阿寒湖には1時間余りで行ける原野に囲まれた所です。街灯がなく、夜は懐中電灯がなくでは歩けません。空の方が明るく、家の傍らの土手を登ると下には水量豊かな釧路川が、見上げると今にも落ちて来そうな大きな星、360度見渡せる満天の星空。地平線から登る日の出は、これまたデッカく、土の中から生まれ出てきた生き物のようです。何キロも続く真っ直ぐな道、左右にはのんびりと牧草を食べる牛、その中にエゾ鹿の親子がいたり、家には夜になると、犬の餌を食べにキタキツネがやって来ます。ドクドクと湧き出ている水、真夏でも冷たく手を入れていられません。勿論池の底まで見える透明さ。冬にはオジロワシの番いが休みに来ます。何もかも東京育ちの自分達には別世界でした。しかし、冬の寒さは厳しく、朝晩は零下20～30度、息を吸うと鼻の穴が、ペタッとくっついてしまいます。地中60cmは凍ってしまうので積もった雪は太陽が出て解ける事はありません。木は霧氷となりガラス細工そのものです。それに朝日が当たるとダイヤモンドのごとく輝きはじめます。でも吹雪になると恐ろしいのです。雪はゴウゴウと音をたて横殴りに飛び、真昼でも視界ゼロの世界になります。2回目の冬にこの恐ろしさを体験しまし



主人とトラックで仕事している頃「十勝平野」をバックに

た。11月末から雪がパラつき、雪解けの5月までそれはそれは長く一日千秋の思いで春を待ち続けます。

堅い土の中から雪を分け、小さな山吹色の蕾をもった福寿草が見えた時は、春が来たのです。つま先から、フォアーツと体中に春が伝わってきます。人間の手に負えない自然の厳しさと、素晴らしさ。植物、動物達のたくましさ、そして、生命の大切さを北海道に来て考えさせられました。庭には、主人と手作り（私は、講釈の方が多いのですが）の露天風呂も作りました。中でも“打たせ湯”は、グッド・アイデア賞ものです。あっち、こっちデコボコですが、見てもあきません。春になると、いろんな物を作

ります。花壇には、6月頃になると黒百合が、昨年よりいっぱい咲くでしょう。小さなビニールハウスには、今年は何を作ろうか？。小さなログハウスを作って、孫達が送ってくれる絵を、手紙を飾りたいね。遠くに海が見える景色のいい高台に、自分達の設計した家を建て、放し飼いの犬、家の中には大好きな猫（これは私だけの夢！）、私達の夢はまだまだ終わりがありません。



阿寒湖の近くのエゾ鹿。冬は、こげ茶に変わり、雪の下の草を食べます。

大菩薩ヒュッテ



2003年1月 ヒュッテ・ベランダの冬

大菩薩ヒュッテの自然とヒュッテ・ライフの一片の切り取りを皆様にお届けします。どうぞ皆様もヒュッテに来て、自然を身体一杯に感じ、素敵なヒュッテライフを自身で体験して下さい。お待ちしております。

今号では、事務局宛にヒュッテに関する問い合わせの多い事項をまとめてみました。

※ヒュッテ利用は同窓会以外の人是可以する？

同窓生が責任者となり、その家族、友人知人を同伴することはできます（例：大学のサークル、職場の仲間、ボランティア団体等）。

※申込方法は？（予約・問い合わせ）

※利用期間は？

5月1週～11月1週土・日。休祭日の前日、夏休みの平日については山岳部同窓会の小屋当番が手当出来れば利用可です。ご相談下さい。

※設備等はどのようなものが？

プロパンガス、食器炊事用具、炊飯器、水道、電気（照明）、毛布、マットレス、テーブル。自炊ですので、食料は持参していただきます。

※利用料金は？

一泊一人¥1,000円 管理費に充当します。

※車で行けるのですか？

ヒュッテの近くまで行けます。10分位でヒュッテに着くことができます。コースや駐車場に関することは、事務局でその都度詳しく説明いたします。



ヒュッテ・ベランダの秋



秋・峠への道

◆今年のホームカミングデイは15期生

卒業40周年を迎える15期生のホームカミングデイが、同窓会懇親会の中で、行われます。懐かしい顔が集います。15期生の皆さん総会出席とあわせて、奮ってご参加ください。

◆CDプレゼント

スペイン歌曲の第一人者、柳貞子さん（2回生）から、ご自分のCDをプレゼントしたいとお申し出がありました。同窓会懇親会の受付時に、希望者に贈呈いたします。数に限りがありますので、ご希望の方はお早めに受付を済ませてください。

◆昔の「生徒会新聞」を探しています

世界史の兵頭信彦先生が、昔の「生徒会新聞」を捜しておられます。先生は、昭和36年度から40年度まで、「好奇心」のペンネームで先生方のゴシップ欄を執筆されていました。お心当たりの方は、事務局までご連絡ください。

進路一覽表（平成15年度4月8日現在）

国公立大学	現 役		浪 人	合 計	愛媛大学										短期大学										現 役		浪 人	合 計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	男	女			計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21			22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
専攻看護大学	1	1	1	2	東京理科大学	2	2	5	7	玉川大学	1	1	1	2	早稲田大学	10	1	11	19	30	女子栄養短期大学																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				</

関塚正先生の新著

「記録写真に見る 多摩の自然」

多摩川、崖線、台地、丘陵の4項目に分けて、貴重な風景や植物の姿を記録した写真集です。

先生は前書きの中で、「多摩の地は緑が多いと言われながらも、景観としての豊かさが急速に失われつつあります。本書によって、緑とそれを眺める空間の存在がいかに大切であるかを、みなさんに感じていただけたら幸いです」と記されています。地形図も掲載され、撮影場所もわかる親切

な構成で、ページを繰っていくと、懐かしい関塚先生の講義を思い出します。

ご希望の方は関塚先生までがきご連絡ください。代金は後払い。本に同封して、振込用紙が送られてきます。定価2,000円。



卒業生から著書の寄贈がありました

今年は9人の方から同窓会に著書を寄贈されました。同窓会のサロンにおいてありますので、ぜひご覧ください。



平成14年度 退職・転出入者名簿

卒業生 21,819名 物故者 497名 住所不明者 4,984名